

しぐじい

連携・モデリング

校長 西山 守

本年度も残り1ヶ月。子どもたちも一年間のまとめにがんばっています。まだ寒い日もありますが、元気で最後まで過ごし、新年度を迎えられるようよろしくお願いいたします。

さて、1月には学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。2月14日には学校評議員の皆様にもご意見をいただきました。アンケート結果は、別途お知らせしたところですが、いただいたご意見を参考に、来年度の学校教育の充実を図っていききたいと思います。



いただいたご意見の中には、本校の教育に対し肯定的にご理解いただき、とてもありがたく思われるものも多々ありました。

その中でも、特に印象に残っているものをあげてみます。

<要約>「朝会の話から、子どもが『人権』という言葉覚えてきて、とても大切なものだという意識を持っています。ありがとうございます。自分が小学生のころにも反差別について教わり、今も自身の考えの礎となっています。」

このご意見から、子どもの教育にとって、とても重要な二つのことが読み取れます。

まず一つは、「連携」です。

教育は、家庭・学校・地域等が連携して効果が

あげられるとはよく言われています。このご意見をよせてくださったご家庭では、きっと、人権について、親子で話し合ってくださいましたことと確信しています。

家庭でも学校でも大切なことについて、同じ方向で子どもに話ができれば、教育効果がより一層高まります。これこそが連携の一つの典型です。

家庭と学校で話されることが違えば、子どもは混乱し教育効果がなくなってしまいます。(もし、何かちがうかなと感じたら、相談し、共通理解してから子どもに話すとういでしょう。)

二つ目は、モデリングです。よいお手本があるということです。

このご家庭では、人権尊重の精神の基本である「相手の立場に立って考える」ことを、日常生活の中で実践してくださっていることが、ご意見を通して伝わってきます。

人権尊重の精神とは、権利を主張することではなく、誰かが困ったりいやな思いをしていたりしないかと想いをめぐらすことから始まるものだと考えます。

子どもたちの周りにいる大人が、日常的に自然とそのような考えのもとに行動していれば、それを目の当たりにした子どもは、人権尊重の精神が、自己の内面に価値観としてしっかり根付いていくはずで



アンケートで皆様からいただいたご意見を、直ちにすべて実現することはできませんが、真摯に受け止め、連携やモデルにあふれる中で、子どもたちが過ごせるように努めて参ります。今後も、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3月の行事予定

- 2日(月) 委員会活動
- 3日(火) 保護者会1・2年
- 5日(木) 音楽発表会 3年、1/2成人式 4年
保護者会3・4年
- 6日(金) 6年生を送る会
- 9日(月) 音楽発表会5年
保護者会5・6年

- 10日(火) 安全指導
- 11日(水) 春風の集い(きこえとことばの教室)
- 12日(木) 避難訓練
- 16日(月) PTA年度末総会 15:30~
- 23日(月) 給食最終日 大掃除
- 24日(火) 修了式
- 25日(水) 卒業式
- 26日(木) 春季休業日<4月5日まで>